

令和 8 年度

統計研修のご案内

総務省統計研究研修所



総務省統計研究研修所

統計研究研修所の役割

総務省統計研究研修所は、統計に関する我が国唯一の公的な専門研修機関として、**国・地方公共団体等の職員を対象に、統計作成の中核を担う高い専門性を有した人材の育成及び統計を政策の立案等に活用するための統計リテラシーの向上**を目的として研修を実施しています。

集合研修に加え、研修のライブ配信や、eラーニング形式のオンライン研修など ICT を活用した研修を実施しています。



【統計に関する専門機関ならではの多様な研修内容】

統計の理論から作成の実務、データ利活用・分析等まで、演習を含む多様な研修科目により基礎から応用まで学べるほか、人口推計や経済予測、GIS や RESAS を用いた地域分析などニーズに応じて幅広く学ぶことができます。

【政策担当部局の方にも有用な研修の実施】

政策の立案・評価への統計データの活用、e-Stat 等オープンデータの利用方法及びアンケートの企画など、統計担当部局のみならず、政策担当部局にとっても有用なテーマに関する研修を数多く実施しています。

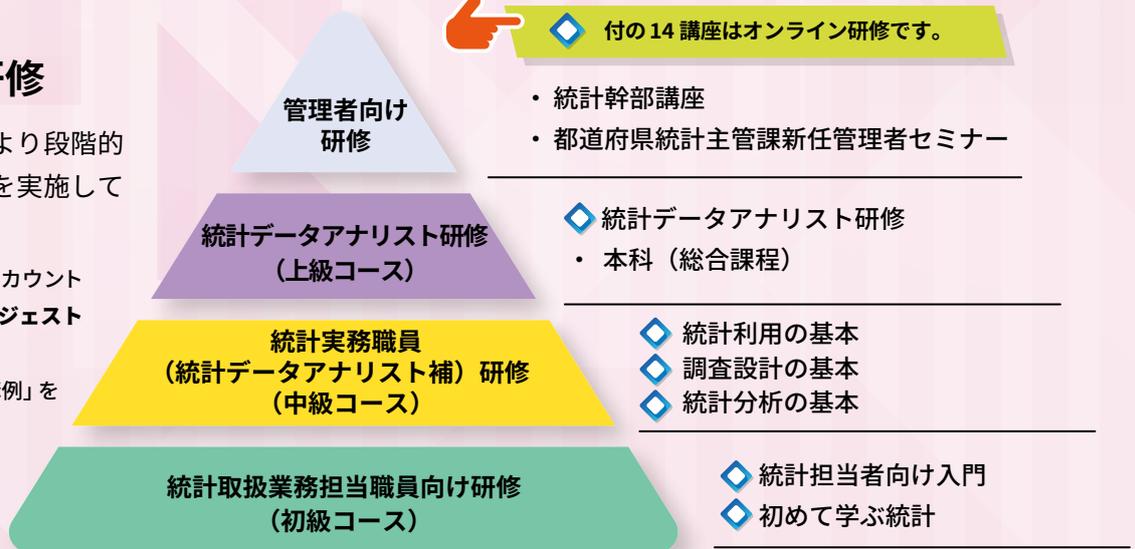
研修体系

研修は「業務レベル別研修」と「分野別研修」の二つに分かれており、その中からニーズに合わせて選択可能です。

▲ 業務レベル別研修

統計実務経験や役職により段階的にレベルを分けた研修を実施しています。

※「初めて学ぶ統計」には、アカウント登録のみで視聴できる**ダイジェスト版**もあります。
概要は P4「おすすめを受講例」をご覧ください。



■ 分野別研修

統計リテラシー向上のために、分野ごとに分けた研修を実施しています。

データ利活用コース

- ◆ 政策立案と統計
- ◆ 政策評価と統計
- ◆ ビッグデータ利活用
- ◆ データサイエンス入門
- ◆ データサイエンス演習
- ◆ 誰でも使える統計オープンデータ
 - ・ データサイエンスセミナー

統計作成実務コース

- ◆ 国民・県民経済計算
- ◆ 産業連関表の作成・分析
 - ・ 指数に関する研修

人口・経済統計コース

- ・ 人口推計
- ・ 経済予測
- ・ 社会・人口統計の基本

地域分析コース

- ・ GIS による統計活用
- ・ 地域分析

マイクロデータコース

- ・ マイクロデータを利用する前に
- ・ マイクロデータ分析
- ・ マイクロデータ分析のためのプログラミング

都道府県職員・教育関係者向けコース

- ・ 地方統計職員業務研修
- ・ 統計指導者講習会
- ・ 教育関係者向けセミナー

各研修の概要は、P6「研修一覧」をご覧ください。



自分が学びやすい受講形態の研修を選べます！

インターネット配信

オンライン

スマートフォン又はタブレットで受講もできる

都合のいい時間に受けられる



自分のペースでeラーニング形式

専用サイトで受講します。約4週間の受講期間にいつでも学べるので、まとまった時間をとりづらい方におすすめです。

全14講座を同じ内容で年4回実施

開講時期

第1回5月～ 第2回8月～ 第3回11月～ 第4回1月～



視覚的に
わかりやすい！

アニメーションや字幕があるので、理解しやすいと好評です。



ライブ配信

チャットでリアルタイムに質問もできます！



リアルタイムでリモート形式

講義をリアルタイムにリモートで受講します。どこでも学べるので、移動が難しい方におすすめです。

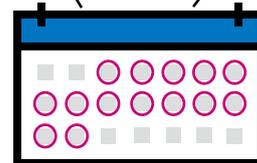
各講座は年1回実施

- ・統計指導者講習会（8月）
- ・指数に関する研修（9月） など8講座



見逃し配信も見られる
講義後、約2週間閲覧できる見逃し配信もあります。

約2週間



集合

対面形式



質問はお気軽に！

統計研究研修所の教室で対面形式

教室で受講します。講師に直接質問したり、実践的な演習を行いたい方におすすめです。受講生同士の交流ができ、情報交換の場としても活用できます。

本科（総合課程）は年2回実施 そのほかの講座は年1回実施



宿泊施設も利用できる
遠方からの参加の場合、リネン代（1週間700円程度）のみで宿泊できます。



おすすめの受講例

受講目的別に特におすすめの研修を紹介します。

統計関係職員

統計関係部署へ
配属された方

約4時間で、データの見方と
統計制度の基本が学べます

初めて学ぶ統計

主な内容
統計データの活用と統計リテラシー /
データの見方と分析の基本 / 統計制
度と公的統計 ... など

約7時間で、統計調査、データ分析
とデータ活用の基本が学べます

統計担当者向け入門

主な内容
統計調査入門 / データ分析入門 / 統計
グラフの基礎・作成 / e-Stat の利用 /
地図で見る統計 (統計 GIS) ... など

統計データ
アナリスト
を目指す方

資格取得に必要な研修がオンラインで学べます

初級コース

中級コース

上級コース

初めて学ぶ統計

統計担当者向け入門

統計利用の基本

調査設計の基本

統計分析の基本

統計データアナリスト研修

統計の専門的な知識習得及び企画から分析までの実践力が集合研修で身に付きます

本科 (総合課程)

統計データアナリストとは 国家公務員対象の統計業務資格で、一定の業務経験や規定された統計研修の修了を要件としています。※研修は地方公務員も受講対象です。

マイクロデータを利用したい方

多様な分析が可能なマイクロデータの活用法が学べます

マイクロデータを利用する前に

マイクロデータ分析

マイクロデータ分析のためのプログラミング

政策担当部局の職員など

初学者・新規
採用職員

公務員に必要な統計リテラシーの基本が学べます

初めて学ぶ統計

初めて学ぶ統計 (ダイジェスト版)

初めて学ぶ統計 (ダイジェスト版) とは 約1時間で、統計リテラシーの必要性、公的データの入手、適切なグラフの選択、公的統計の役割などが学べます。統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」(P5掲載)からアカウント登録のみで視聴できます。

EBPMに興味
がある方

EBPMの基本をオンラインで学べます

政策立案と統計

政策評価と統計

アンケートを
企画したい方

アンケートの企画・設計に役立つ基本知識をオンラインで学べます

統計担当者向け入門

調査設計の基本

教育関係者

統計分野の
指導方法を
学びたい方

統計に関する授業に役立つ情報を得られます

教育関係者向けセミナー

統計指導者講習会

受講申込（研修受講までの流れ）



オンライン

募集要項は、各機関の研修担当者にメールでお送りしています。
オンライン研修と集合・ライブ配信研修でそれぞれご案内時期が異なります。

集合
ライブ



研修担当者がシステムにアップロードしてください。



受講者へ直接、メールでお送りします。



研修担当者からメールでご提出ください。



研修担当者へメールでお送りします。



受講生などの声

集合・ライブ配信研修では、受講生間の情報交換・交流の場があり有意義でした。

統計データの見方がわかるようになりました。

見やすい資料やグラフを作成できるようになりました。

統計解析ソフト R などを利用したデータ分析について学ぶことができました。

統計に詳しい人材が増えて業務に役立っています。

研修修了者を組織内の研修講師として活用しています。

統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」

統計研究研修所では、統計人材育成を推進するため、国家公務員及び地方公務員に向けた統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を開設しています。
研修内容、受講申込、自主学習教材などを掲載しておりますので、是非ご活用ください。

URL

<https://t-kenshu-om.soumu.hq.admix.go.jp/portal/index.html>

※閲覧には、新府省間ネットワーク（GSS G-Net）、政府共通ネットワーク（G-Net）又は総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続する必要があります。

掲載内容（主なもの）

- 研修内容：統計研修一覧（研修期間、主な内容、講師、講義計画書）
- 受講申込：申込方法（推薦方法、マニュアル等）
- 自主学習教材：「初めて学ぶ統計（ダイジェスト版）」等の動画教材

研修一覧

※各研修の日程、内容等は変更になる場合があります。

管理者向け研修

研修課程名	主な対象者	開催時期	期間 (所要時間)	受講形態			研修概要
				オンライン	ライブ	集合	
統計幹部講座	各府省幹部職員 (統計主管部署)	9月中旬	半日		●		適切な統計行政の管理・監督に必要な、統計行政の幹部としての心構え、昨今の統計行政を取り巻く状況、過去の事例を学ぶ
都道府県統計主管課 新任管理者セミナー	都道府県統計主管課 新任課長	4月中旬	半日		●		統計制度の根拠法令や統計データの活用方法など、新任の管理者に必要な知識を学ぶ

統計データアナリスト研修（上級コース）

研修課程名	主な対象者	開催時期	期間 (所要時間)	受講形態			研修概要
				オンライン	ライブ	集合	
統計データアナリスト 研修	・中級コース修了程度の知識がある者 ・国家公務員のうち、統計データアナリスト認定を目指す者、又は、統計データアナリスト補認定を受けている者 ※地方公務員も受講できます。	毎四半期 (4週間)	約10時間 30分		●		統計に関する高度な能力を有する者として統計データアナリストに求められる事項について幅広く学ぶ ＜主な内容＞ <u>公的統計とその作成プロセス</u> <u>標本調査の設計・標本誤差</u> <u>審査集計・公表品質管理</u> など
本科（総合課程）	政策立案の場などで有用な実践的で応用力のある統計学を学びたい者（研修開始までに初級コース及び中級コースの修了が受講要件）	6月上旬～ 8月上旬 10月上旬～ 12月上旬	約2か月			●	統計の基本から応用まで、公的統計の作成を担う人材に必要な知識・スキルを習得するとともに、各種演習等を通じて実践的な能力を養成する ＜主な内容＞ <u>統計学</u> <u>統計調査</u> ・ <u>統計作成の実務論</u> <u>社会・経済の重要な統計データの見方・分析のための各種手法</u> など

統計実務職員（統計データアナリスト補）研修（中級コース）

研修課程名	主な対象者	開催時期	期間 (所要時間)	受講形態			研修概要
				オンライン	ライブ	集合	
統計利用の基本	・初級コース修了程度の知識がある者 ・国家公務員のうち、統計データアナリスト、統計データアナリスト補認定を目指す者	毎四半期 (4週間)	約9時間 15分		●		既存のデータやグラフから要因、結果、状況を読み解く手法を学ぶ ＜主な内容＞ <u>主要統計指標の見方・使い方</u> <u>地域経済と統計</u> など
調査設計の基本			約9時間 10分		●		統計調査の企画立案、調査設計の流れ、根拠法令を学ぶ ＜主な内容＞ <u>調査計画の策定・承認申請</u> <u>調査の審査・集計</u> など
統計分析の基本			約5時間 20分		●		自身でデータを分析、考察する際に必要な統計的分析手法を学ぶ ＜主な内容＞ <u>記述統計基礎</u> ・ <u>演習</u> <u>推測統計概論</u> ・ <u>演習</u> など

統計取扱業務担当職員向け研修（初級コース）

研修課程名	主な対象者	開催時期	期間 (所要時間)	受講形態			研修概要
				オンライン	ライブ	集合	
統計担当者向け入門	・「初めて学ぶ統計」修了者及び同程度の知識がある者 ・新規採用職員、統計初学者	毎四半期 (4週間)	約7時間 15分		●		統計行政関係部署に新たに就いた者にとって必要な、統計データの入手、グラフによる可視化、利用の仕方を学ぶ ＜主な内容＞ <u>統計調査入門</u> <u>データ分析入門</u> <u>e-Statの利用</u> など
初めて学ぶ統計			約4時間		●		これから統計利用を始める者にとって必要な、基礎的な統計リテラシー、統計制度を学ぶ ＜主な内容＞ <u>統計データの活用と統計リテラシー</u> など

※「初めて学ぶ統計(ダイジェスト版)」は、統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」からのアカウント登録のみで、いつでも視聴可能です。

分業別研修

	研修課程名	主な対象者	開催時期	期間 (所要時間)	受講形態			研修概要
					オンライン	オフライン	集合	
データ活用コース	政策立案と統計	・EBPMに興味のある者 ・施策立案部門の担当者	毎四半期 (4週間)	約6時間 45分	●			政策立案と統計の関連性を学び、PDCAサイクルにおける統計の重要性を認識するとともに、実務における統計データのいかし方を学ぶ
	政策評価と統計			約7時間 10分	●			PDCAサイクルにおける政策の事後的評価の観点から、統計の活用方法を学び、またアンケートによる効果測定の際に必要な基礎知識を習得する
	ビッグデータ利活用 -基礎から応用まで-	ビッグデータの利活用に 興味のある者		約3時間 20分	●			データの分析手法、可視化についての実例及びビッグデータからデータ分析する意義、目的について学ぶ
	データサイエンス入門	データサイエンス初学者		約5時間 30分	●			統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用に役立てる
	データサイエンス演習	データサイエンス入門の受講者・ 修了者		約6時間 45分	●			エクセルを使った実践的なデータ分析（統計分析）の手法を習得する
	誰でも使える 統計オープンデータ	オープンデータをこれから 利用する者		約4時間 40分	●			e-Statの使い方など、公的統計データの入手の仕方からオープンデータの利用方法を学ぶ
	データサイエンスセミナー 【滋賀大学と共催】	データサイエンスに関心がある 初学者	8月下旬	1日		●		データサイエンスの基礎について学び、グループワークを通じてデータサイエンスへの理解を深める
統計作成実務コース	国民・県民経済計算	国民経済計算、県民経済計算の 担当者	毎四半期 (4週間)	約7時間 20分	●			実務担当職員の基礎知識として、国民経済計算、県民経済計算についての推計方法、分析手法を学ぶ
	産業連関表の作成・分析	産業連関表の担当者		約8時間 20分	●			実務担当職員の基礎知識として、産業連関表の作成手法・分析手法について、演習を通じて学ぶ
	指数に関する研修 -鉱工業指数を中心に-	鉱工業指数の作成及び分析担当者	9月上旬	1日		●		指数の概要、鉱工業指数の作成・活用方法を学び、指数への理解を深める
人口・経済統計コース	人口推計	人口統計を用いた推計、分析を これから行う者	5月中旬	4日間		●		人口問題の現状や人口推計の理論を学び、エクセルを用いた演習を通じて人口推計手法への理解を深める
	経済予測	経済統計を用いた推計、分析を これから行う者	3月上旬	5日間		●	●	経済予測の基礎理論、マクロ経済モデル、ケインジアンモデル、生産関数による経済予測等を学び、エクセルを用いた演習を通じて経済予測手法への理解を深める
	社会・人口統計の基本	「統計利用の基本」修了程度の知識 があり、データ分析を用いた社会・ 人口統計分析をこれから行う者	12月上旬	3日間		●		社会・人口統計分析の基本について学び、統計解析ソフトR及びエクセルを用いたデータ分析の演習を通じて社会・人口統計分析への理解を深める
地域分析コース	GISによる統計活用	GISを用いた分析をこれから 行う者	5月中旬	3日間		●		GISの概要、GIS活用事例を学び、QGISやjSTAT MAPを用いた演習を通じて、GISによる統計活用方法への理解を深める
	地域分析	地域分析をこれから行う者	8月下旬	3.5日間		●		地域人口推計や地域分析に活用できる指標、GIS及びRESAS等を用いた地域分析について学び、エクセルやQGISの演習を通じて地域分析への理解を深める
マイクロデータコース	マイクロデータを利用 する前に	マイクロデータを利用する者	統計研修ポータルサイト「統計研修 ひろば」からいつでも受講可能					マイクロデータ（調査票情報）の利用に係る制度の概要と利用方法・注意点を学ぶ
	マイクロデータ分析 -Rによる統計解析-	「調査設計の基本」及び「統計分析 の基本」修了程度の知識があり、R を用いたマイクロデータの集計・ 分析をこれから行う者	1月下旬	4日間		●		マイクロデータ分析と統計解析ソフトRの基礎、標本抽出法と標準誤差の評価について学び、Rを用いた演習を通じてマイクロデータ分析についての理解を深める
	マイクロデータ分析の ためのプログラミング -統計解析ソフトRの利用方法-	「統計担当者向け入門」修了程度の 知識があり、かつ、R以外の他言語 でのプログラミング経験があり、 これからRを使用する者	1月中旬	2.5日間		●		統計解析ソフトRの一般的な使い方を、e-StatのAPI機能、一般用マイクロデータ、教育用標準データセット（SSDSE）等のテストデータやコードを用いた演習を通じて学ぶ
都道府県職員・教育関係者向けコース	地方統計職員業務研修	都道府県統計主管課職員のうち、 市町村に対しての説明機会が想定 される者	4月下旬	1日		●	●	都道府県職員から市町村に対して研修を行う際に必要な知識などを習得する
	統計指導者講習会 (中央研修)	・統計教育を担当する学校教員 (数学、総合的学習) ・教育部門の担当者	8月上旬	1日		●		授業で使える統計データの探し方、可視化、新学習指導要領改訂の背景等について学び、互いの実践についての情報交換や個別討議を通じて、統計データを用いた学習指導力向上を図る
	教育関係者向けセミナー 【滋賀大学と共催】		7月下旬 8月上旬	各1日		●		学校教育の場において、子供たちに興味を持ってもらいやすい事例、学校で取り入れられた授業内容の実例などを学ぶ。授業作りでの困り事などについて、受講生間で情報を共有したり、講師に質問することで課題解消につなげる（小中学校教員向け（8月上旬）と高等学校教員向け（7月下旬）の計2回開催）

統計相談窓口を開設しています

各府省・地方公共団体の統計業務をサポートしています。統計の作成に携わる業務を進めていく中で、不明な点等がありましたら、必要に応じて下記の「統計作成支援センター」までご連絡・ご相談ください。

統計作成支援センター



電話

03-5273-1058



メール

stat-shien@soumu.go.jp

お問合せフォーム

https://e-stat.nstac.hq.admix.go.jp/guidebook/inquiry_form

● 統計作成ガイドブックのご案内

統計作成におけるプロセスのフローを可視化し、具体的な業務内容や留意点、関連する規程類などを整理して掲載した「統計作成ガイドブック」をご活用ください。

<https://e-stat.nstac.hq.admix.go.jp/guidebook/>

※ 閲覧には、新府省間ネットワーク（GSS G-Net）、政府共通ネットワーク（G-Net）
又は総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続している必要があります。

統計研究研修所（管理・研修部）へのアクセス



所在地

〒185-0024
東京都国分寺市泉町 2-11-16

交通

JR 中央線・武蔵野線
「西国分寺」駅下車
南口から徒歩で約6分

研修受講に関する問合せ

総務省統計研究研修所 管理・研修部 研修企画課

集合研修及びライブ配信研修について：企画係
オンライン研修について：オンライン研修係



電話

042-320-5874



メール

o-kensuisen@soumu.go.jp



ホームページ

<https://www.stat.go.jp/training/index.html>



※募集要項発出先の研修ご担当者様や窓口のご連絡先が変更になった際は、上記連絡先までお知らせください。
変更の連絡をいただいていない場合、募集要項が届かなくなりますのでご注意ください。